

一緒に活動しませんか？

スローライフ・イン・に～よん実行委員会では、北24条駅周辺の発展、活性化のために、いろいろな活動を行っています。参加希望の方、興味のある方は事務局までお問い合わせください。

スローライフ・イン・に～よん実行委員会事務局
北23西4森谷ビル2F（北24条商店街振興組合内）
☎707-3027

「子どもたちには、この活動に参加することで、地域や環境のことを考える心をはぐくんではほしいです」と最後に語った小泉委員長。今後は、10月まで、毎月第三日曜日に、北24条駅周辺で清掃活動やフラワーロードづくりを行う予定です。

地域のためにできること ～清掃活動に込める地域への感謝～

地域のために何かできることがないだろうか。こんな思いから、ボランティアで清掃活動を行ってきた「二三北路（百合が原6、町田孝三社長）」と「ひまわり建設（あいの里1の3、森敬博社長）」の両社は、市の除雪業務などで長年連携しており、今回のアダプト・プログラム事業にも一緒に参加することに。

町田社長は「この事業に参加することで、地域の清掃活動を継続していきたい」と語り、森社長も「お世話になっている地域のために貢献したい」と話します。



雨の中、清掃活動を行う両社の社員



倒れた自転車も整頓しました(JR百合が原駅)

感謝の音が励みに

初回の活動日は、風雨が強く、あいにくの天候でしたが、両社の社員ら約40人が百合が原公園周辺の清掃活動を行いました。

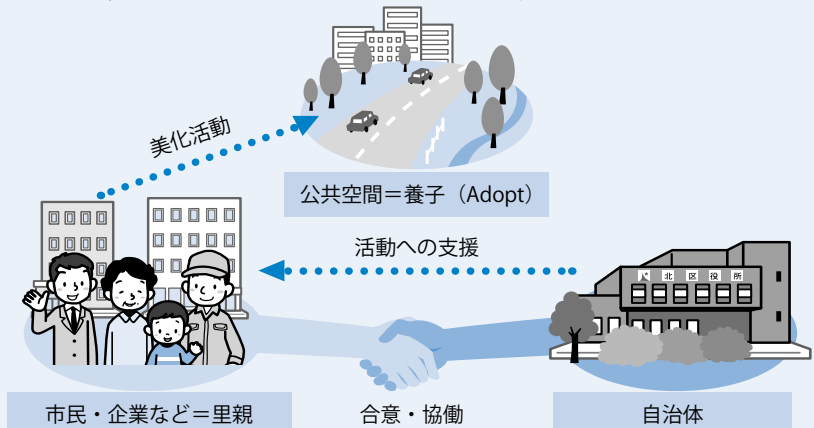
参加した二三北路の栗山拓也さんは「すれ違う方から、励ましの声を掛けていただきました」と笑顔で話し、町田社長も「地域からの感謝の音が一番の励みになります」と話します。

両社は、今後、百合が原公園周辺で、夏は道路清掃や駐輪場の整理、冬は消火栓の除雪や歩道への砂まきなどを行う予定です。



アダプト・プログラムって？

アダプト・プログラムとは、道路や公園などの公共空間を養子(Adopt)に見立て、市民が里親となって美化(清掃)活動を行い、行政がこれを支援するものです。市民と行政が互いの役割を明確にし、パートナーシップのもとで美化を進めます。



【詳細】 地域振興課まちづくり調整担当 ☎757-2400内線253

今回、紹介したアダプト・プログラム事業に限らず、ごみステーションをきれいにしたり、道路の植樹帯に花を植えたりなど、まちをきれいにする活動をしている人はたくさんいます。一人一人が身近な環境問題に取り組めば、周りの人たちの美化意識も今よりもっと高くなるはずです。北区全体がごみのない美しい空間になるよう、一歩踏み出してみませんか。